# ベンチアバリカルブイソプロピル・TPN水和剤 プロポーズ顆粒水和剤

取扱メーカー: クミカ, サンケイ\*

原体メーカー:

クミカ、エス・ディー・エス

成分: ベンチアバリカルブイソプロピル 「アミノ酸アミドカーバメート系」…5.0% TPN [有機塩素系 PRTR·1種] ······50.0%

性状:淡褐色水和性細粒

**毒性**:普通物 消防法:-

#### 

- ●べと病・疫病に対し予防効果・治療効果の高い 混合剤である。
- ●浸達性を有し、長い残効性と耐雨性を示す。
- ●感染前から感染初期の散布でべと病・疫病の防 除ができる。
- ●既存剤に抵抗性を示す各種耐性菌にも効果を発 揮する.
- ●粉立ちが少なく溶けやすい顆粒水和剤である。
- ●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一 覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- ●長い残効と予防、治療効果を活かし、べと病や 疫病の重点防除時期に使用する。
- ●治療的散布でも卓効を示すが、病気まん延後の 散布では効果が劣るので、初発病斑を見つけたら 直ちに散布する。

### 【薬効・薬害等の注意】…………

●あんずに対して薬害を生じるおそれがあるの で、付近にある場合はかからないように注意する。

#### 【安全対策上の注意】……………

- ●無人航空機散布の際は、共涌注意事項の2 空 中散布及び無人航空機 (無人ヘリコプター等) に よる散布・滴下に関する注意事項を参照。
- ●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはか からないようにする。
- ●魚類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時
- ●散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処 理する。









## 

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	10a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	ベンチアパリカルブ イソプロビルを含む 農薬の総使用回数	TPN を含む農薬 の総使用回数
	べと病	1000~ 1500倍						10回以内 (土壌灌注 は2回以内,
きゅうり	褐斑病 うどんこ病 黒星病	1000倍			3回以内		o E N t	散布及び常 温煙霧及び くん煙及び エアゾル剤 の噴射は合 計8回以内)
アスパラガス		1500倍	100 ~ 300 ℓ	前日まで	2回以内	. 散布	3回以内	4回以内 2回以内
	疫病	1000~ 1500倍			2四以内			6回以内 (土壌灌注
トマト	葉かび病	1000倍			3回以内			は2回以内, 散布及びく ん煙及びエ アゾル剤の 噴射は合計 4回以内)
ばれいしょ	疫病 夏疫病	750~ 1000倍 250倍 32倍	倍 音 25ℓ	7日前 まで	5回以内	無人航空 機による 散布	5回以内	5回以内
		16倍	1.6 ℓ					
はくさい	べと病 白さび病 黒斑病 白斑病	1000倍	100 ~ 300 ℓ		2回以内	散布	3回以内	3回以内 (は種又は定 植前の土壌 混和は1回 以内, 散布 は2回以内)
ブロッコリー	べと病			出蕾前 但し, 収穫21 日前まで				3回以内 (土壌灌注 は1回以内, 散布は2回 以内)
たまねぎ	べと病 白色疫病 灰色かび病			7日前 まで	3回以内			6回以内
なす	褐色腐敗病 すすかび病			前日まで	4回以内		4回以内	4回以内
すいかメロン	褐色腐敗病 炭疽病 べと病 つる枯病			3日前 まで	5回以内		5回以内	5回以内
かぼちゃ	べと病 疫病 うどんこ病			7日前 まで	3回以内		3回以内	3回以内

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	10a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	ベンチアパリカルブ イソプロピルを含む 農薬の総使用回数	TPN を含む農薬 の総使用回数
キャベツ	べと病	1000倍	100 ~ 300 ℓ	14日前 まで	2回以内	散布	2回以内	3回以内 (は種又は定 植前の土壌 混和は1回 以内,散布 及びエアゾ ル剤の計2回 以内)
ねぎ	べと病 葉枯病 白色疫病				3回以内		3回以内	4回以内 (土壌灌注 は1回以内, 散布は3回 以内) 3回以内
だいず	茎疫病 べと病 紫斑病			21日前 まで	2回以内		2回以内	2回以内